

2012-B					
拠出金・基金の名称:		北太平洋海洋科学機関拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 北太平洋海洋科学機関(PICES)					
【所管官庁担当局課・室名】: 農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
○聞き取り調査・漁場環境調査を実施し、里海型漁業管理マニュアルを作成。 ○ワークショップを開催し、マニュアルの普及、地元研究者への能力開発を実施。 ○里海型漁業管理に関するデータベース、ネットワークを構築。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千加ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成24年度	12,290	150	-	1加ドル = 82円	100
平成23年度	14,159	165	-	1加ドル = 86円	100
平成22年度	15,938	188	-	1加ドル = 85円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
本機関について、加盟は日、米、露、加、中、韓の6カ国で、カナダに事務局を設置。運営は総務会、行財政委員会、科学評議会等26の委員会等で構成され、幅広い連携・協力を実施。各国より水産関係研究機関、行政、大学が参加している。 2010年に名古屋で開催された生物多様性条約(COP10)のCBD10の愛知目標で2020年までに海洋の10%を海洋保護区として保全することを求められているが、海洋保護区について、我が国は、漁業資源の持続的利用と生物多様性の保全を両立させる「里海」の概念を国際的な基準の一つとすることを提唱しており、特に途上国が強い関心を示している。 本機関では、平成22年から里海型漁業管理についての検討会を設置しており、「里海」の概念を普及させCBD10の愛知目標のクリアを容易にするため、我が国として今後とも積極的に関与していく。					